

Mate 2011 第17回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」 シンポジウム 日本ブランドを支えるものづくりのイノベーション 参加者募集

主 催：(社) 溶接学会 マイクロ接合研究委員会
共 催：(社) 機械学会 エレクトロニクス実装における
信頼性設計と熱制御に関する研究分科会, (社) 高温学会
微細加工研究情報委員会, (社) 日本塑性加工学会 接
合・複合分科会, (社) 日本電気制御機器工業会, エレク
トロニクス生産科学学会準備会, レーザ加工学会, 大阪
大学 先端科学イノベーションセンター, エレクトロニ
クス実装学会

協 賛：映像情報メディア学会, 応用物理学会, 化学工学
会, 画像電子学会, 軽金属学会, 計測自動制御会, 高温
学会, 高分子学会, 資源・素材学会, システム制御情報
学会, 情報処理学会, 精密工学会, 電気化学会, 電気学
会, 電気設備学会, 電子情報通信学会, 日本機械学会, 日
本金属学会, 日本顕微鏡学会, 日本材料学会, 日本シミ
ュレーション学会, 日本接着学会, 日本セラミックス協
会, 日本塑性加工学会, 日本伝熱学会, 日本非破壊検査
協会, 日本表面科学会, 日本品質管理学会, 日本複合材
料学会, 日本物理学会, 日本分析化学会, 日本溶接協会,
表面技術協会, プラスチック成形加工学会

開催趣旨

日本のエレクトロニクス産業は, この 20 年間, 高機能
化, 高信頼化, 小型化, 低コスト化の技術開発に支えられ
た新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム
創成の下, 日本の高度成長を牽引してきました. 今後も日
本が世界を先導し続けるには, 生産技術を科学的に探求す
ることはもちろんのこと, 既存の学問領域, 設計・生産技
術などの領域を越えて, エレクトロニクスを取巻く科学技
術, 経営・生産システム, 価値システム, などの広い範囲
を取り込んだグローバルなオプティマイゼーションとそ
れに基づくシステムインテグレーションが不可欠になっ
てきています. 本シンポジウムでは, これら生産技術に関
する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の
場をより広くかつ定期的に持ち, 生産の科学と技術の進展
を促すことを目的として企画開催されます.

日 時：平成 23 年 2 月 3 日 (木) 8:50 ~ 17:30
平成 23 年 2 月 4 日 (金) 9:00 ~ 17:20

会 場：パシフィコ横浜 会議センター
横浜市西区みなとみらい 1-1-1

シンポジウム参加登録費 (論文集代を含む)

○主催・共催団体登録会社	: 20,000 円
○協賛学協会会員会社	: 30,000 円
○論文口頭発表者	: 15,000 円
○大学, 国公立研究機関	: 10,000 円
○学生	: 5,000 円
○シニア (65 歳以上)	: 10,000 円
○その他 (一般)	: 40,000 円

シンポジウム参加申込方法

下記シンポジウム URL より平成 23 年 1 月 21 日(金)ま
でに参加登録を行って下さい.

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/research/micro/mate/Mate2011.html>

参加費のお支払いは, 銀行振込でお願い致します.

問合せ, 申込先 Mate 2011 事務局 事務代行
合同会社フロンティア・アライアンス
ものづくりリエゾンオフィス事業部
TEL: 06-6878-5628, FAX: 06-6879-7568
E-Mail: mate@fa-mlo.com

参加申込締切日：平成 23 年 1 月 21 日 (金)

振込先銀行：三井住友銀行 千里中央支店

口座番号：普通 0824444

口 座 名：合同会社フロンティア・アライアンス
ものづくりリエゾンオフィス

シンポジウム URL

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/research/micro/mate/Mate2011.html>

プログラム (セッション名と発表件数)

2 月 3 日 ~ 4 日

●プレナリーセッション

1. 世界に通じるイノベーションとは ー携帯電話ー
((社) 情報通信技術委員会 TTC 井上 友二)
2. 世界に通じるイノベーションとは ーハイブリッド車ー
(トヨタ自動車(株) 野澤 成行)
3. 世界に通じる日本発の実装技術 一次世代実装技術ー
(i-PACKS 塚田 裕)

●ポスターセッション 20 件

●論文発表 64 件